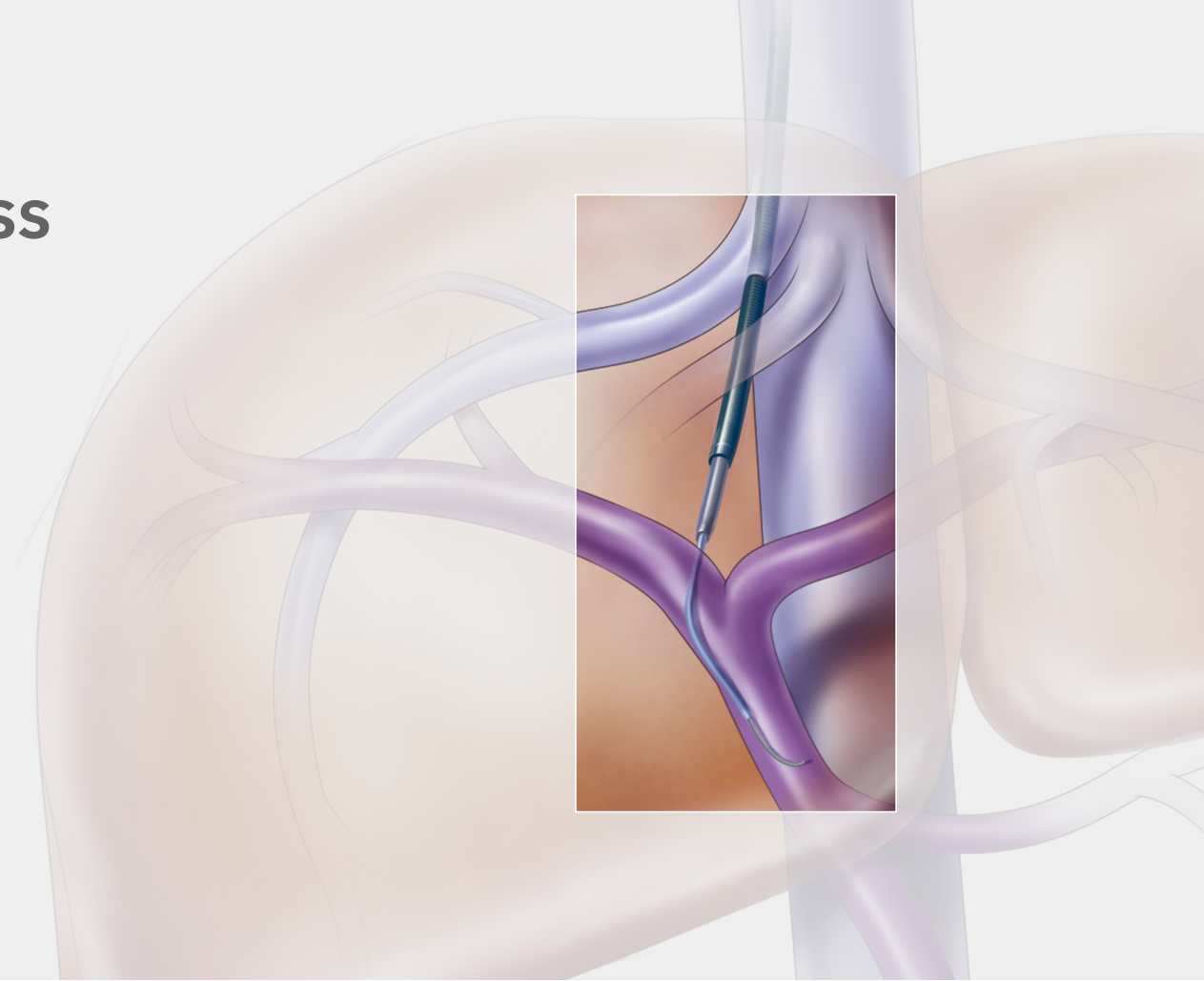


Transjugular liver access

図解付きガイド



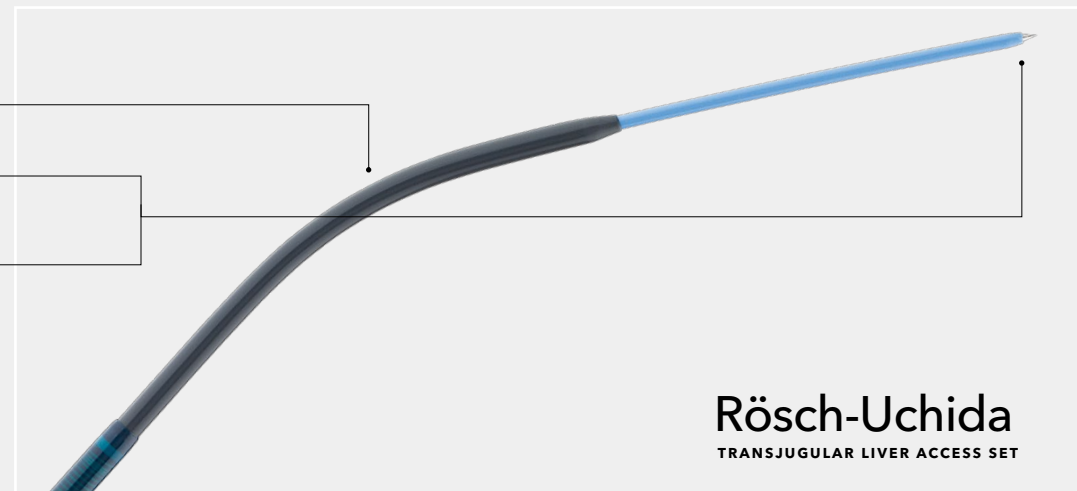
Rösch-Uchida

TRANSJUGULAR LIVER ACCESS SET

経頸静脈的肝臓アクセス用に設計されたアクセスセットで手技をサポート

Features and benefits

- スティッフニングカニューーラが穿刺時の安定性をサポート
- トロッカースタイレットが経頸静脈的な肝臓へのアクセスをサポートし、ガイドワイヤ、カテーテル、シースの留置を容易にする
- トロッカースタイレット先端のコイル構造によりエックス線下における高い視認性を実現



グローバル 製品番号	カタログ番号	ガイドングシース 径/全長 Fr/cm	トロッカースタイレット 径 inch	トロッカースタイレット 長 cm	スティッフニングカニューーラ ゲージ	スティッフニングカニューーラ 有効長 cm
チェックフロー	ガイドングシース付き	Rösch-Uchida 経頸静脈門脈アクセスセット				
G06929	RUPS-100	10/40	0.038	62.5	14	51.5

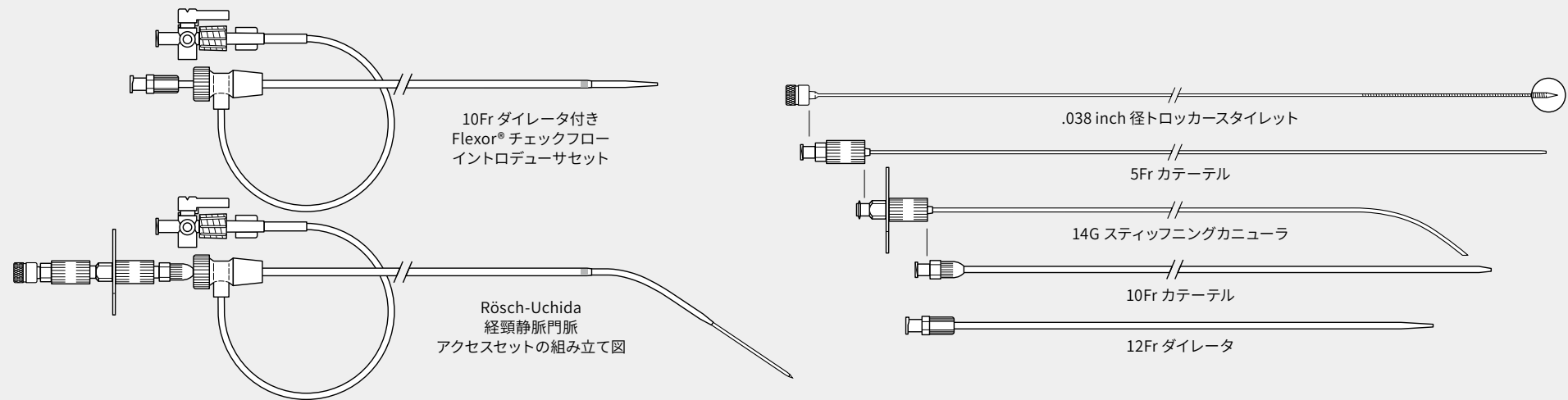
使用するカテーテル等の機器がシースに適合するよう、挿入前に機器の最大径を確認してください。

販売名:COOK ROSCH-UCHIDA TIPSセット
承認番号:30600BZX00254000

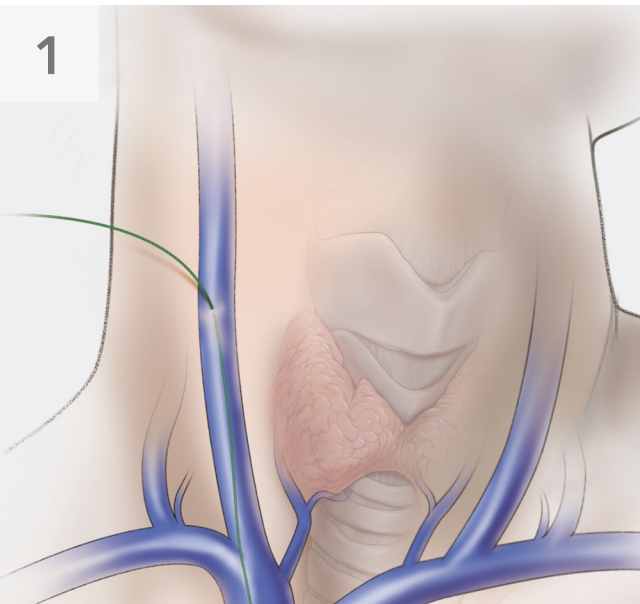
Transjugular liver access

図解付きガイド

詳細な使用方法や注意事項は電子化された添付文書を参照してください。

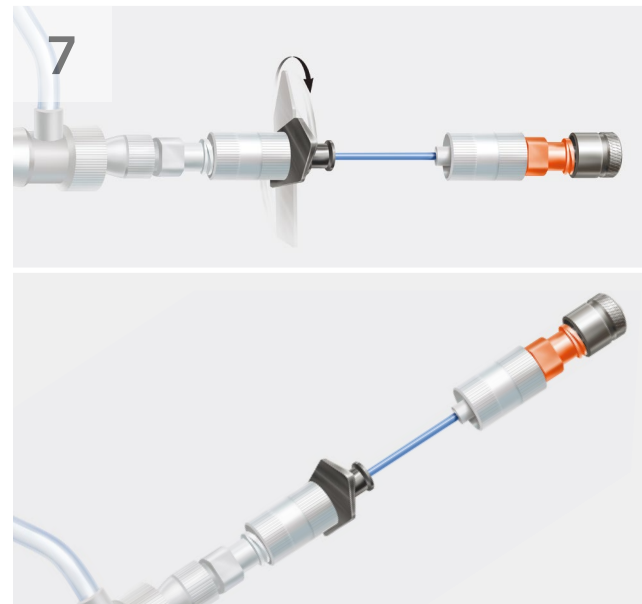


1



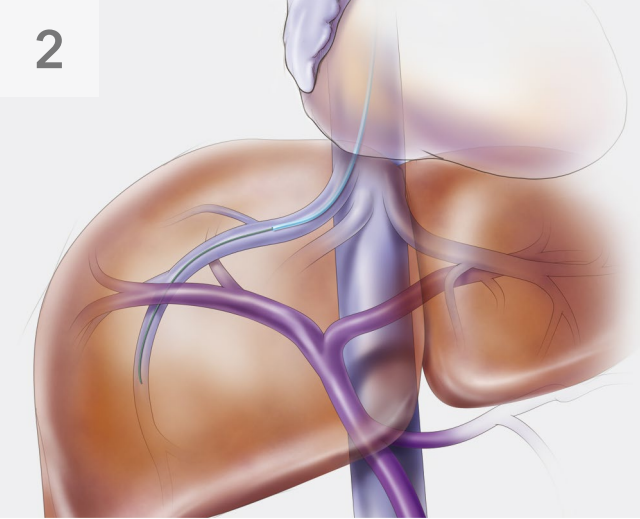
適切な穿刺針やシースを使用して頸静脈へアプローチし、0.035インチガイドワイヤを下大静脈へ進めます。

7



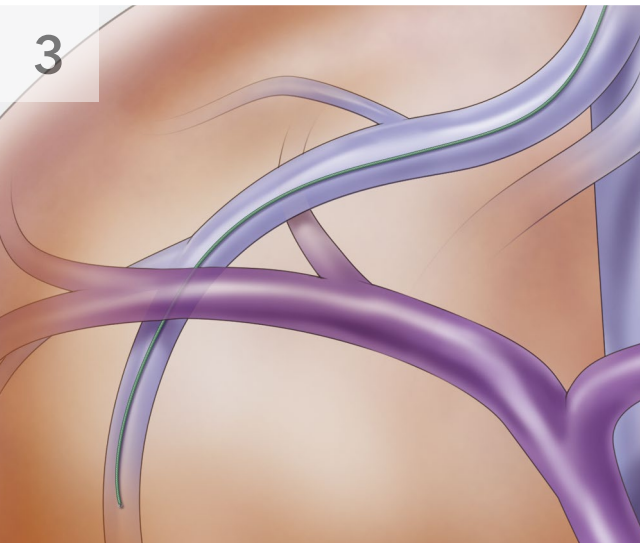
10Fr カテーテルとカニューラのセットを下方に向け、前方に回転させます。(スティッフニングカニューラのベースプレートに表示された矢印は、スティッフニングカニューラのカーブの方向を示します。)

2



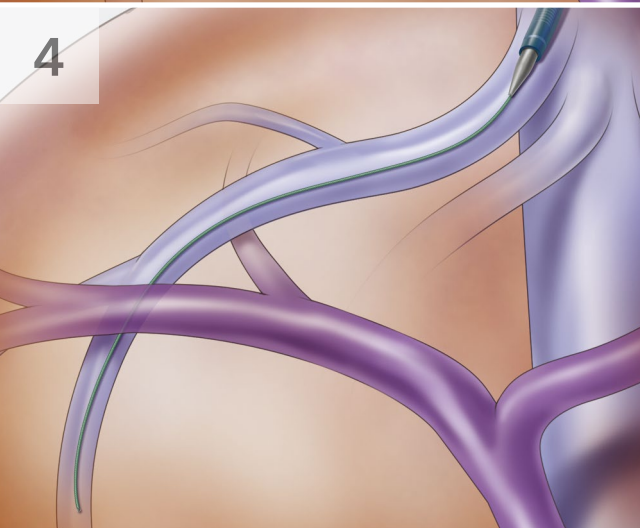
ガイドワイヤを介して適切なカテーテルを、右肝静脈 (RHV) または肝静脈枝に挿入します。
(ガイドワイヤおよびカテーテルはセットに含まれておりません)

3



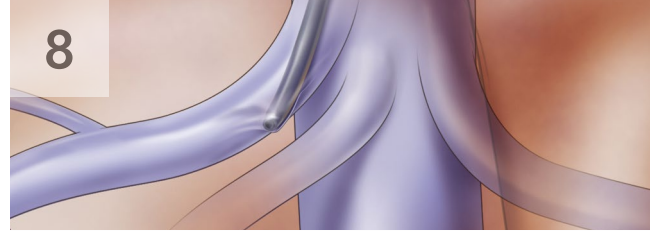
安全な遠位部にガイドワイヤを残し、カテーテルを抜去します。

4

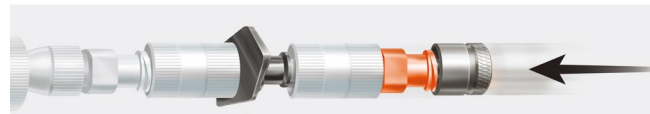


Flexorチェックフローイントロデューサセットの挿入部を12Frダイレータで拡張します。そして、ガイドワイヤに沿って、Flexorチェックフローイントロデューサセットを肝静脈に進めます。ガイドワイヤを残したまま、Flexorチェックフローガイドリングシース用ダイレータを抜去します。

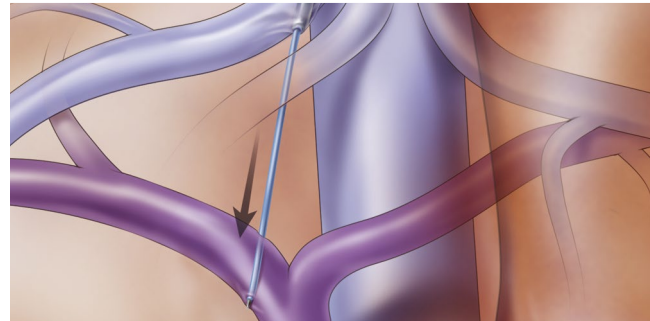
8



10Fr カテーテルとスティッフニングカニューラのセットの先端を静脈壁に押し当てます。



5Fr カテーテルとトロッカースタイルレットのセットを肝実質を通して門脈系に向かって一気に穿刺します。

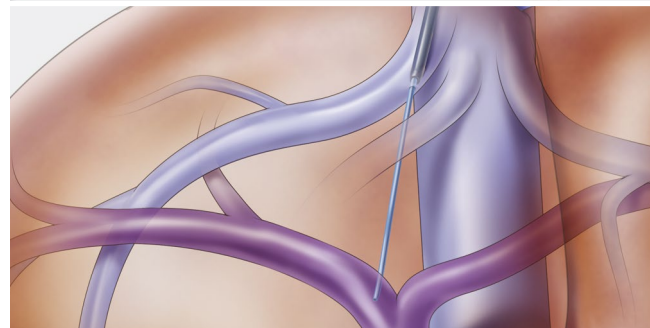


9



5Fr カテーテルからトロッカースタイルレットを抜去します。

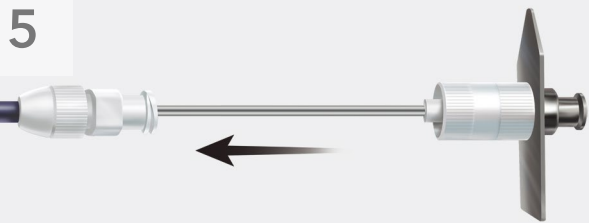
造影剤を入れたシリンジを5Fr カテーテルに接続し、吸引しながら血液が確認できるまで5Fr カテーテルを引き戻します。



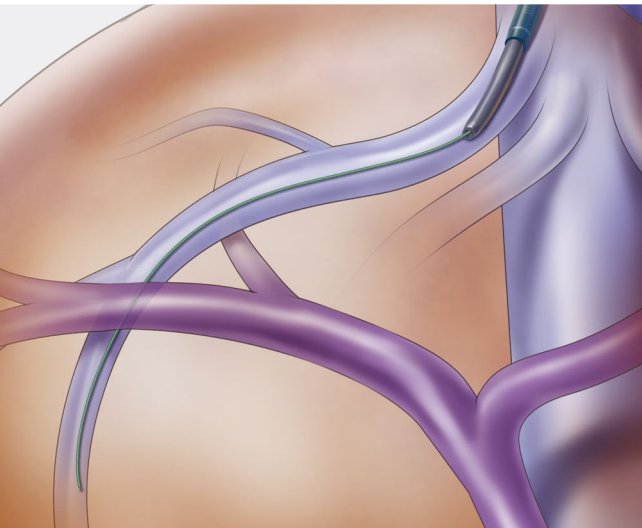
血液の逆流を確認しながら、5Fr カテーテルの先端を門脈内に配置します。



少量の造影剤を注入し、門脈内での5Frカテーテルの位置を確認します。



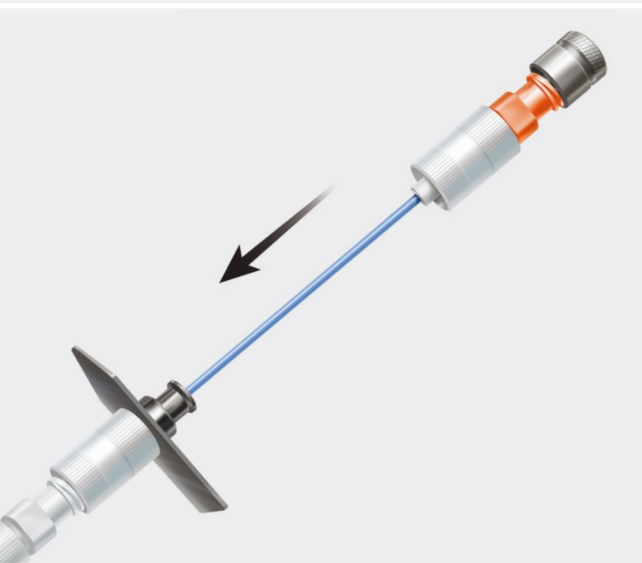
10Fr カテーテルに14G スティッフニングカニューラを挿入します。



ガイドワイヤに沿って10Fr カテーテルと14G スティッフニングカニューラのセットをFlexorチェックフローガイドングシースに挿入します。10Fr カテーテルと14G スティッフニングカニューラのセットを肝静脈遠位部に配置し、ガイドワイヤを抜去します。

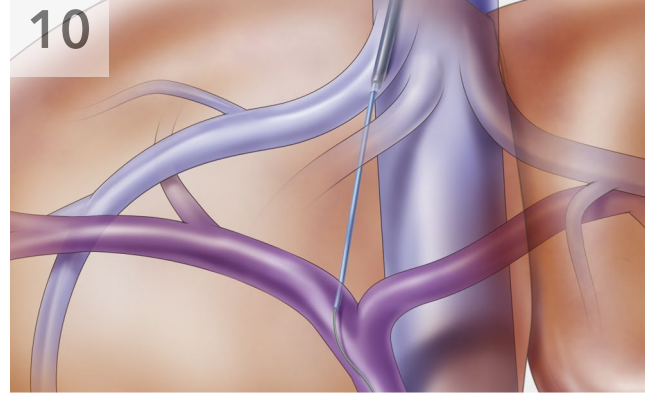


5Fr カテーテルにトロッカースタイレットを挿入します。

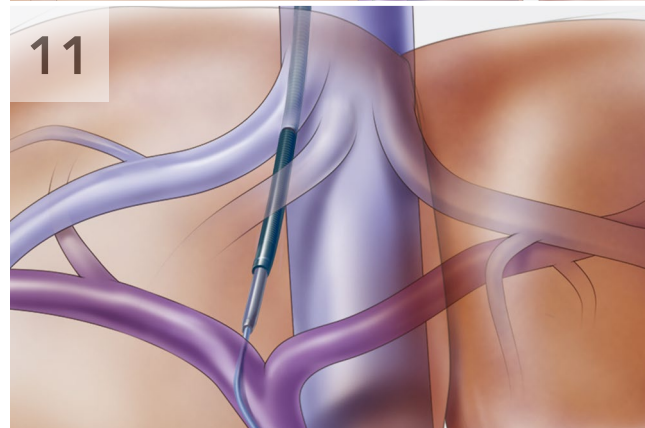


5Fr カテーテルとトロッカースタイレットのセットを、10Fr カテーテルと14G スティッフニングカニューラのセットに挿入します。

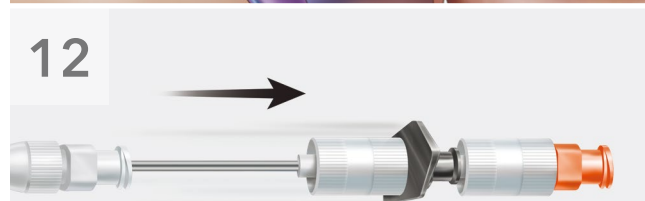
注記: トロッカースタイレット先端は10Fr カテーテルのエンドホールから出ないようにしてください。



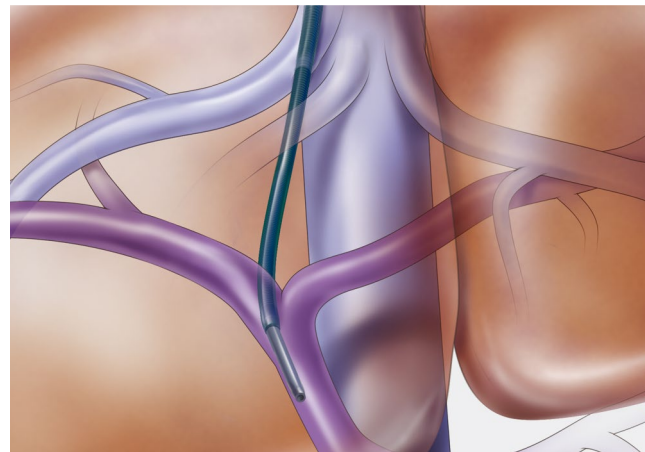
5Fr カテーテルにガイドワイヤを挿入し、門脈枝に進め、門脈本幹(MPV)を選択します。



14G スティッフニングカニューラを安定した位置で保持し、5Fr カテーテルとガイドワイヤに沿って、10Fr カテーテルとFlexorチェックフローガイドングシースを進めます。10Fr カテーテルとFlexorチェックフローガイドングシースを肝実質内を横断して門脈に達するまで、さらに進めます。



セットから14G スティッフニングカニューラと5Fr カテーテルを抜去します。



Flexorチェックフローガイドングシースでアクセスを維持しながら、必要な診断検査またはインターベンション治療に応じてガイドワイヤと10Fr カテーテルを抜去したり、そのまま利用することができます。



製造販売元
クックメディカルジャパン合同会社
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1
中野セントラルパークイースト
TEL : 03-6853-9470
cookmedical.co.jp

Asia Pacific Customer Service

Australia: +61 734346000, cau.custserv@cookmedical.com
China: +86 2154519599, chinacssupport@cookmedical.com
Hong Kong: +852 34721688, cs.cahk@cookmedical.com
India: +91 4461993000, india.orders@cookmedical.com
Japan: +81 368539470, info-japan@cookmedical.com
Korea: +822 62923500, kr.orders@cookmedical.com
Malaysia: +603 76693889, cs.malaysia@cookmedical.com
Singapore: +65 63207678, cooksea.cs@cookmedical.com
Taiwan: +866 266283500, cooktwn@cookmedical.com
Thailand: +66 21688630, th.orders@cookmedical.com
SADC: +65 63207600, sadc_cs@cookmedical.com
cookmedical.com

